



第231号
 編集責任 筑波大学新聞
 編集委員会 委員長 嶺 隆
 TEL: 029(853)2040-2041
 E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
 月刊
 発行所 筑波大学
 茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から
 秘話 学長選考をめぐる 三特集 常陸野の原野拓いて30年
 ダンス部 史上初の3連覇
 バレー 「地元」の意地見せ優勝
 アップ 芸専作業室夜12時以降の使用
 「芸バチ」新装オープン
 11 10 9 8 4 2
特集 6,7
 つくばエクスプレス
 電車が走る筑波が変わる

筑波大学開学30周年
 (創基131年)

授業評価 30日まで延長

回答529人にとどまる ウェブ回答がネットに

新学務システム「ツインズ」を利用して、全学斉く実施された授業評価の実施期間が今月30日まで延長されている。延長の告知は、ツインズ上や各学群の掲示板などで8月29日から始まった。

全学規模の授業評価は学生の要望もあり、単位を実質化し、教育内容をレベルアップするため1学期末の6月20日から7月20日まで1カ月かけて行われたが、アンケートに回答を寄せた学群・専門学群生は全体の約5%にとどまった。予想をはるかに下回る低い回収率に菊池修副学長(教育担当)は7月15日の教育審議

会に数字を中間報告するとともに期間延長を提案、了承された。菊池副学長は「馴れないウェブ上のアンケートで回収率を心配していた。低率の場合、延長することも考えていた」と話している。

学務部が8月27日現在で集計したところによると、回答者は529人、総回答件数は4520件だった。学群・専門学群生の約6パーセントが回答したことになる。

同部は7月20日までに回収したアンケートについて今月末までに科目番号、質問項目ごとに集計し、二学期末には、ツインズ上など

で公表する予定。どのような内容を公表するかは、現在検討中だ。

今回の授業評価は、全学規模で実施される初めてのものと注目されたが、結果的に「電子アンケート」という新形式に足をすくわれた格好だ。同じようなツインズを使った授業評価は、生物学類単独でも実施されたが、この時は回収率50%を超えた。「身近な学群のアンケート」と「全学アンケート」との差が出たのかもしれない。

また、最近、国立大学で全学的な授業評価を実施した例としては、一橋大学がある。同大は今年1月、受



講者が20人以下の科目を除く全ての教養科目と専門科目を対象に行った。授業終了後にマークシート形式の質問紙を配布、その場で回収。回収率は約90パーセントだったという。本学との回収率の差は、電子アンケートと直接回収との差が出たといえそうだ。

冷夏 直撃
 農林技術センターは例年より遅い、旬の味覚の収穫を迎えた。冷夏、日照不足からブルーベリーの出来は昨年の5割減。売上げも半減しそうだ。(撮影・本間千秋|比較文化学類)

柵教授らの「感性科学」採択 昨年度と合わせて4件に

世界最先端の研究に、重点的に予算を配分する文部科学省の「21世紀COEプログラム」の今年度分5分野の選考結果が7月17日、明らかになった。本学は10件申請したが、採択は1件だった。

採択されたのは、柵教授らの「感性科学」プロジェクト。採択されたのは、柵教授らの「感性科学」プロジェクト。採択されたのは、柵教授らの「感性科学」プロジェクト。

今年度分の5分野(医学系、数学・物理学・地球科学、機械・土木・建築・その他工学、社会科学、学際・複合・新領域)には、全国225大学611件の申請があった。日本学術振興会など4機関により運営される21世紀COEプログラム委員会が審査され、56大学133件を採択した。採択されたプログラムには、今後5年間にわたって年間1〜5億円配分される。2年後に中間評価が行われ、実績をあげられなかった研究に対しては予算配分が打ち切られる。

21世紀COEプログラム「国立大学の構造改革の方針」(2001年6月)に基づき、文科省が02年度から開始。世界最高水準の研究教育拠点の形成、研究水準の向上と世界をリードする人材の育成が目的。今年度の予算は約334億円で、昨年度採択分などを差し引いた約158億円が、今回採択分の拠分に配分される。

本学は、医学系2件、数件、物理学・地球科学2件、機械・土木・建築・その他工学1件、社会科学2件、学際・複合・新領域分野3件を申請。このうち、2次ヒアリング審査に進んだのは4件で、最終採択は1件だった。

2年間で最も採択数が多かったのは、東大の26件。本学は全体で12位、国立大では10位だった。

柵教授のプロジェクトは、ヒトのこころの働きを、医学、心理学、芸術学、心身障害学の視点から研究する。「感性」を生み出す総合的な脳機能の理解と感性科学の新領域創成を目指していく。

人間総合科学研究科の感性認知脳科学専攻が中核となり、心理学、芸術学の3専攻で横断的に研究に取り組む。柵教授は「感性科学」という研究分野は、全く新しい融合的な分野。それぞれの研究成果を融合させることが最も重要で、何としても成果をあげたい」と意気込みを語った。

学長選考 意向調査は10月22日 27日にも新学長決定

国立大学法人筑波大学の初代学長となる学長候補者選考にかかわる意向調査が10月22日に行われる。北原保雄学長が来年3月31日任期満了となるため実施されるもので、3日の学長候補者選考会議(議長「小池唯夫毎日新聞社相談役」)で決定した。

意向調査の実施と推薦受付は9月19日に公示、22日までに推薦を学長選考意向調査実施管理委員会へ受け付け、10月1日に被推薦者が公示される。推薦書と推薦者名簿、所信表明書は6日、学報で公表する。意向調査の結果は即日開票し、上位3人の氏名と得票数を公示。選考会議に報告する。27日には、第2回選考会議を開き、学長候補者を決定、決定理由とともに同日公表される。学長候補者は、法人化される来年4月1日、文部科学大臣から学長に任命される。選考会議は、評議会の構成員から互選(3名連記の投票)で選ばれた10人の委員で構成する。

4月以降、学長選考方法等検討委員会(委員長「岩崎博男副学長」)が5回にわたる検討を行い、規則を制定した。法人化後は、経営協議会

の学外委員と教育研究評議会から、それぞれ選出された委員で構成する選考会議(学長、理事を加えることができる)が設置される。経営協議会の委員は学長が任命し、過半数を学外者が占める。教育研究評議会は、教育組織の長などで構成される。

学長選考に先立ち教員への説明会が7月11日、2H101で行われ、103人が参加した。(2面に「秒読み 国立大学法人化」)

27人が合格
 国家公務員 種人事院は6月27日、国家公務員 種試験の合格者を発表した。本学からは327人が受験し、昨年度と同じ27人が合格した。うち女子は1人だった。合格率は8.26%。全体の競争率は昨年度の23.0倍から18.2倍に低下した。大学別合格者の上位3校は東大、京大、早大の順。本学は昨年度から3つ順位を下げた17位だった。

合格者の内訳は法律6人、化学・生物・薬学系5人、一般工学系4人、農業・林学系1人、社会科学系1人、地球科学系1人、自然環境系各1人。

1973年に新構想大学として出発した本学は、開学記念日の10月1日、節目の30周年を迎える。

当日は、午前11時から大会会館講堂で30周年記念式典が行われる。管弦楽団によるモーツァルトの歌劇「魔

10月1日開学30周年記念式典
 式典終了後、午後1時から、オーケラフロント画されている。(4面に「三特集」)

本学は、医学系2件、数件、物理学・地球科学2件、機械・土木・建築・その他工学1件、社会科学2件、学際・複合・新領域分野3件を申請。このうち、2次ヒアリング審査に進んだのは4件で、最終採択は1件だった。

2年間で最も採択数が多かったのは、東大の26件。本学は全体で12位、国立大では10位だった。

柵教授のプロジェクトは、ヒトのこころの働きを、医学、心理学、芸術学、心身障害学の視点から研究する。「感性」を生み出す総合的な脳機能の理解と感性科学の新領域創成を目指していく。

人間総合科学研究科の感性認知脳科学専攻が中核となり、心理学、芸術学の3専攻で横断的に研究に取り組む。柵教授は「感性科学」という研究分野は、全く新しい融合的な分野。それぞれの研究成果を融合させることが最も重要で、何としても成果をあげたい」と意気込みを語った。

つくば市内の駐車場で警備員のアルバイトを始めて1年。自分の利益だけを考える運転者の多いことに驚く。制止を無視して突っ込んでくる車。空いたスペースに我先に駆けつける車。学内の駐車場はどうだろう。ゲート化されて2年目を迎える、ゲートの利用が定着したように見える。交通安全対策委員会の大嶋建一委員長「運用は完璧」と話す。しかし、5月15日のゲート稼働以降、全学でゲートのパー12本が折られた(9月12日現在)。三学駐車で2本、松見口で2本、一の矢地区で5本、医学地区で3本。当て逃げされ、誰が折ったのかわからない。まだ、自動車の塗料がパー1に付いていないため、故意に折ったと思われるものもあるという。ある警備員は「胸を掴まれて、駐車場のゲート化なんて聞いていない」と怒鳴られた」とこぼす。大学周辺の住宅地では、依然、学生の路上駐車車が絶えない。天久保3丁目の住民は「警察の取り締まりという強硬な手段でなく、運転者のマナーによって、路上駐車を無くしたい」という。ゲート導入が議論された当時、推進派と学生にルートを浸透させればゲートは不要だという反対派が対立した。現実には違法駐車が多く、結局、ゲート化に踏み切った。相変わらず続くマナー違反を見ていると、あの議論は何だったのだらうと思ふ。

学内540台に感染が

PCウイルス MSブラスト

学情 駆除ソフト利用して

世界各国で感染が拡大している新種のコンピュータウイルス、MSブラストが8月12日、本学学術情報処理センターでも発見された。亜種を含めると感染の恐れがあるコンピュータは8月23日現在で約540台。被害や影響の全体像はまだ把握しきれていないが、同センターではわかりやすいウェブページを通じて知らせる方針だ。

同センターでは発見直後、外部への感染拡大を防ぐため、外部への接続経路の一部を遮断。その上でウイルスの駆除に当たった。ブラストウイルスはほぼ

数理物質科学研究科に新専攻

学外研究機関を本拠に

本校周辺の学外研究機関「物質・材料研究機構」を拠点に、社会のニーズに則した最先端の研究を学ぶ「物質・材料工学専攻」が来年度から新設されることになった。学外の研究機関に、大学院の専攻をまかせ、大学院の専攻をまかせ、専攻の教員は18人で、同機

構の研究官が併任で務める。入学者選抜や博士論文の審査も、原則的に同機構が行う。本学の教員は、副指導教官として、教育支援運営については、機構の研究官の中には教育に慣れている人もいると思うので、相談しながらやっていく」とのことだ。



比較文化学類の説明会の様子(2H101で)

6968人が参加の盛況 授業料値上げの不安も

大学説明会

夏恒例の「受験生のための筑波大学説明会」が7月29、30の両日開催された。初日は、第二学群、医学専門学群、体育専門学群、図書館情報専門学群が、2日

総合学習の導入などの影響により、学校単位で参加する高校が増えたのでは」と増加の理由を推測する。

説明会は、大学会館での北原保雄学長のあいさつから始まった。北原学長は、「今日は専門分野のハイキングだと思って、試食をしてみてください」と受験生の緊張をほぐした。その後、受験生は希望する学類の会場に移り、それぞれの説明会、模擬授業などに参加した。

生物学類の説明会に参加した高校生は、「キャンパスが広く、学習施設も充実していて魅力的」と笑顔で語った。しかし、芸術専門学群の説明会に参加した高校生は、「国立大学法人化で、授業料が上がるのではないかと不安」と話していた。

本学の入学者選抜は、9月中旬のアドミッションセンター入試から始まる。

附属病院医師ら3人 名義貸し認める

それによると、県から「覚せい剤研究者」の指定を受けた臨床医学系の元教授が96年と98年に、合わせてメタンフェタミン100アンブルを正規の手続きを経て、購入した。98年に、このうちの30アンブルを覚せい剤研究者の指定を受けていない基礎医学系の元教授に不正に譲渡。99年7月には元大学院生にも2アンブルを不正譲渡した。

調査委員は、出入簿や実験ノートなどから、これらのメタンフェタミンは研究目的以外には使用されていないと結論した。調査委員の取調べに対し、元教授は「共同研究を進めたい」と話しているという。

秒読み 国立大学法人化

来年度に誕生する国立大学法人筑波大学の初代学長をどう選ぶかを協議してきた学長選考方法を検討する委員会(委員長=岩崎庸(男)副委員長)は5月22日の評議会に、最初の学長選考に関する規則案を提示した。大学の公開HPで公開される「検討委員の議事録」からうかがえるように、「規則案」では、候補者が4人に満たない場合、

「規則原案」に反論噴出 評議会

意向調査重視に大幅修正

開かれた。評議会でも40分間にわたり、反論が噴出した。審議事項の多くが原案のまま承認される評議会では異例だ。

焦点は、学長選考会議が行う学内の意向調査。いわゆる学長選挙だ。講師以上の専任教員への投票によって、候補者の支持を見るものだ。「規則案」では、候補者が4人に満たない場合、

意向調査を行わないことのできる、「意向調査を行っても2名連記の投票で、得票数上位3人の氏名だけを公開する」とあった。

従来の学長選考では、必ず教員による選挙が行われる。意向調査は、決めるわけにいかないで

もある牧野順四郎人間総合科学研究科長(心理学系教授)は、学内意向は「無視できない」と語る。

一方、選考委員長の林史典(附属図書館長)は「芸・言語学系教授」は意向調査を「選考会議へ重要な判断材料を伝える手段」と位置づけ、「意向調査の結果と選考会議の決定が異なることももちろん有り得る」と話す。

7月11日、2H101大教室で教員への説明会が開かれた。岩崎委員長は説明を終った後、司会者は再三にわたって「質問をどうぞ」と促した。結局、質問の手は挙がらないまま、説明会は終わった。(本紙・山口圭一=社会学類)

知財統括本部発足 産学連携組織を一本化 企業家育成事業に本腰

特許などの知的財産の創出から活用までを一元的に扱う知財統括本部(本部)が1日、発足した。学内に点在していた産学連携関連の組織をまとめ、企業への技術移転や起業家育成事業などの効率化を図る。同本部は、7月15日に採択された政府の「大学的

知財本部整備事業」を実施するもので、今年度は4千300万円が配分され、5年間継続される。特許料や受託研究費で5年以内の黒字化を目指す。

同本部には、知的財産委員会(当時は発明委員会が代行)や産学リエゾン共同研究センターなどが所属する。現在建設中のリエゾンセンター(来年度3月末完成予定)内に設置する。事務手続きも1カ所で行えるようになり、学外への窓口が一本化される。

知的財産委員会は、現行の発明委員会を改組して発足する。発明などの権利が大学が教員のどちらに帰属するかを判定し、教員への補償や権利に関する調停などを行う。

不正に譲渡 覚せい剤を

調査委員報告
本学の教授間で1998年から2年間にわたって、覚せい剤取締法で所持や譲渡が規制されている覚せい剤、メタンフェタミンが不正に譲渡されていたことが明らかになった。本学は6月2日に調査委員会(委員長=濱口秀夫・医療担当副学長)を設置。事件の究明を行い、8月1日、臨時記者会見で調査結果を発表した。

それによると、県から「覚せい剤研究者」の指定を受けた臨床医学系の元教授が96年と98年に、合わせてメタンフェタミン100アンブルを正規の手続きを経て、購入した。98年に、このうちの30アンブルを覚せい剤研究者の指定を受けていない基礎医学系の元教授に不正に譲渡。99年7月には元大学院生にも2アンブルを不正譲渡した。

調査委員は、出入簿や実験ノートなどから、これらのメタンフェタミンは研究目的以外には使用されていないと結論した。調査委員の取調べに対し、元教授は「共同研究を進めたい」と話しているという。

坂下昇氏(さかした・のぼる)本学名誉教授、前流通経済大学長、地域経済学8月13日、急性心筋梗塞のため死去、70歳

篠崎哲氏(しのざき・あきら)本学名誉教授、農林経済学8月17日、肺がんのため死去、89歳

比嘉正範氏(ひが・まさのり)本学名誉教授、龍谷大名誉教授、心理言語学・社会言語学8月25日、多発性骨髄腫のため死去、大石三四郎(おおいし・さんしろう)本学名誉教授、元本学副学長、体育経営学9月4日、肺炎のため死去、87歳

奥野隆史氏(おくの・たかし)本学名誉教授、計量地理学9月6日、間質性肺炎のため死去、70歳

Go!G



写真右・建設が進むつくば駅を見学(つくば駅) 写真中央・線路が敷設され、駅舎建設が急ピッチで進む(鳥島駅) 写真左・特急列車並みの時速130キロで走行可能な新型車両(守谷車両基地)

北原学長 TXを語る

TX開業がやっと現実味を帯びて来ましたが、鉄道はターミナルが重要です。そういう意味で、つくばセンターが終点となるのは少し残念です。桜まで伸ばして、「うなぎやさん(松乃家)の前」でも、「筑波大学前」という駅があればよかったですね。本学は、体育・芸術を含む総合大学。体育はスポーツを通



幻の筑波大学前駅

ば、魅力のある街となり東京から人を呼び寄せることができる。再来年度には本学にも法科大学院が設置できるよう準備している。本学は夜間大学院に力を入れているが、夜間大学院のある東京キャンパスはもう手狭だ。TXが開業すれば、つくばと交通の便の良い場所に新たな社会人大学院の東京キャンパスを作る可能性がある。また、図書館情報専門学群がある春日地区では地の利を生かして、公開講座を開くなど、駅の近さを意識した利用を考えることになるでしょう。

つくばの流行発信基地

ファッションビル「QT」

つくば駅がグランドオープンした。つくば駅には、新しくショッピングセンター「Q・T」(キュー・ティー)がオープンした。Qはファッションビル、Tはフードコート。Q・Tは、約80のテナントが入る予定で、店舗面積は、クレオの半分程度。クレオ・MOGとは、2階のベデストリアンデッキで結ばれている。つくば建設が予定されているのは、ジャスコ・西武百貨店が入居しているショッピングビルはなかつ



物は東京ですという学生は「Q・Tで買い物をするかどうかは、入居ブランド次第」という。開発を進めている筑波新都市開発株式会社総務部総務課課長代理の木村芳之さんは、「つくばは、ミセスブランドは充実しているがヤングは手薄だ。現在、若者に人気のあるブランド各社と交渉中。東京まで行かなくてもいいようなファッションビルにしたい」という。オープンした、TX開業前の平成17年春の予定。また、Q・Tオープンに併せ、クレオ・MOGのリニューアルも予定されており、テナントの入れ替えが検討されている。



41 都市気象

郊外より温度が高くなる都市には、雲が現れることが多い。これまで理論として言われてきた現象を裏付ける研究が進んでいる。気象観測や衛星画像などを用いて都市気象を解析している木村富士男教授(地球科学系)と井上忠雄さん(生命環境科学研究科)に都市の高温化と雲の出現について、話を聞いた。

曇りやすい都市裏づけ 「都市の住環境快適に」



関東平野における雲の出現頻度を示した図では、都市の上空に雲が多く見られた

大都市の上空に雲が出やすいという考えは、「理論的に言われているだけで、実際に明らかにしている」と井上さん。近年まで衛星画像

の解像度が低く、都市レベルでの雲の解析は難しかった。これまでアメリカとロシアでわずかに研究されただけ。いずれも短期間の調査で、明確な結論は得られていない。井上さんは、長期間の衛星画像を解析し、世界最大規模の東京都市圏に存在する、関東平野に雲が多く発生していたかを明らかにした。また、同じ衛星のデータから、植物の光の反射特性を利用して植生指数を計り、植生の少ない場所を都市と特定した。そして、雲の出現頻度を示す図と、都市を特定した図とを重ねた。すると、雲の出現頻度の高い部で気温が高

く、都市を中心とした複雑な形をした大都市部の形がきれいに重なった。海からの冷風でも、もともと海に近い沿岸部を除けば、大手町より内陸側の都市域などでは、郊外との違いがはっきりしていた。「これは、都市型の豪雨もこれに係しているといわれ、雲

は、その前兆とも考えられる。また、雲は一部の日射をさえぎる一方で、地表付近の高温を閉じ込める効果ももつ。地表温度の上昇で、混合層と呼ばれる空気塊が暖められ、その上端の高度が上がると、上空ほど気圧が低くなるので、空気は上昇するほど膨張し、それにつれて温度が下がる。空気が含むことのできる水蒸気量は、温度が低くなるほど少なくなる。そのため、空気中の

卒業生からの手紙



医療福祉のあり方模索 成果のあるODAに発展を

市村 登さん

医療保健設備を訪問した時も、救命用の機材が十分そろっておらず、貴人命を失わせる結果になっていく現実もありました。この国に、24時間対応できる救急病院が、いくつあつたら、率、安心して飲めない水道水、道路脇でホームレス的な生活をしている人々、辺りに散らばった多数のゴミなど、貧困と不衛生をまざまざと目の当たりにしました。しかし、そんな中にも、わが国の援助によって給水塔が建ち、これまで水汲みを強いられていた子供たちが学校に行けるようになり、女性の就労率も上がっています。私には医療機関に勤務しているのだから、医療保健的な視点から、この国を視察することができました。5人に1人という就学

てほしいものです。最後に、訪問の初日、アブドゥレイ・デオツプ経済・財政大臣にお会いした時に、「サッカーで我が国の活躍は、単にスポーツ界だけのことでなく、我が国の活力や国力を反映している」と発言されたことが印象に残っています。セネガルの今後ますますの活躍と発展に期待したいと思います。筑波大学在学中に実習で行った老人介護施設での経験と、今回視察で訪問した保健・教育施設での体験を重ね合わせて、これからの医療福祉や国際協力のあり方を模索していきたいと考えています。ODA民間モニター制度は専門家ではなくても参加できます。在学中の方もぜひ海外へ行かれることをお勧めします。(医療機関勤務、平成4年度・教育研究科修了)

史上初の3連覇

ダンス部

舞台美術特別賞も

史上初の3連覇達成
第16回全日本高校・大学ダンスフェスティバルが7月

31日から8月2日までの3日間、兵庫県神戸市の神戸ダンスホールで行われた。

本学ダンス部は、3年連続で最高位賞の文部科学大臣賞と、衣装や大道具など舞台美術に対して贈られる特別賞をダブル受賞した。

今年、参加校が高校の部に82校、大学の部に38校を数えた本大会は、規模の大きさをやレベルの高さから「ダンスの甲子園」と呼ばれる。初日に予選、2日目に決勝が行われ、最終日の特別上演プログラムでは、各賞を受賞した大学・高校各11校が作品を披露した。

本学ダンス部の今年の作品は「メルヒエン 隠されたもうひとつの物語」。ベ



黒装束のダンサーの妖しい振り付けに、観客は魅了された(神戸ダンスホールで)

ストセラーとなった桐生操著本当は怖いグリム童話にヒントを得て、人がおとぎ話に抱く夢や憧れ、その一方で物語に潜む嫉妬や欲望という人間の二重性をテーマにした。振り付者の1人で主将を務めた佐藤菜美さん(体育3年)は「踊りとして形にするのが困難なテーマ。28人のメンバー中ダンス初心者も7人と多く、この選択は大きな挑戦だった」と語る。

暗闇の中で光る階段の上

短い時間ながら、物語に

で、2人の男女が、オルゴールの音に合わせてゆつくりと動き出す。次の瞬間、鳴り響く時計の音が合図に場面は一変、魔女を彷彿とさせる黒装束のダンサーたちが、音もなく舞台を埋める。絵本のページをめくるように次々と変化する場面構成や、全員が同じ振り舞を激しく踊る最後の場面に、聴衆はひき込まれた。

作品は、5分半という短い時間ながら、物語に

迷い込んだような不思議な印象を与えた。観客の1人は「振り付や構成が個性的で圧迫された。迫力は群を抜いていた」と話した。

予選では、大道具が舞台上で壊れるなどのハプニングが続出。しかし決勝ではリラックスし、最高の踊りを見せた。そして結果発表。作品名が呼ばれると、うつむいていた部員たちは一斉に飛び上がり、涙ながらに肩を抱き合って喜びをかみしめていた。

ノートテイカー養成講座

ろっく学生の手助けに 筆記通訳を体験

講義を受けるろっく学生をサポートするための、ノートテイカー養成講座が7月5、6の両日、人間学系棟A101で開かれた。全学障害学生支援委員会が主催

し、両日共、30人以上の学生が参加した。ノートテイカーとは、授業中ろっく学生の隣に座って、講義や教師の雑談などを文字にして書き伝える

「今何を話しているのか」を同時進行でノートに書いていかなければならない。今回の講座では、模擬講義を受け、実際にノートテイクを試みたり、イヤホンをつけて、ノートテイクを受ける側の体験をした。参加者は、筆記通訳に苦戦しながらも、必死になってペンを動かしていた。

この講座は昨年まで、手話サークルなどが自主的に開催してきた。今年から大規模に開催し、授業の前後に受け付けるなど、多くの学生に参加を呼びかけた。本学では、現在6人の学生がノートテイクを受けている。その中の1人、西畑絵理さん(体育4年)は、

「私たちが情報が欲しいんです。ろっくの大変さ、そしてノートテイクの存在をみんなに知ってもらいたい」と訴えた。ノートテイカーの森田多明衣さん(人間2年)は、

「自分たちの専門外である講義のノートテイクは難しい。各学類にノートテイカーが必要」と話す。今後も、ろっく学生が積極的に授業に参加できるように、呼びかけていく。

原点

60年余りを生きてきて、いまここにいる自分がどうやってここにきたかをあれこれ考えると、自分で考え決断したと思ってきたことが、そうではなく、その時々に出会った状況、出会った人々によって、おのずから決まってきたのだという。あらためて気づくのです。何万里も飛んだと思っていたのに、お釈迦様の手のひらのあいだを出てはいなかった孫悟空ではありませ

んが、あのときこう決めたという自分は、あるよ

い生徒でした(そうなた理由もいま見ると別にあるのですが)。でも、英語だけは人並みに勉強して、言葉には興味を持っていました。文学少年・少女たち(当時は

そんなとき、安田徳太郎という人が、日本語の起源はヒマラヤ山中にあるレプチャ語だということを書いていました。学

話す自分はなせいまここにいるのだろうか、言葉好きとこの夢想とが合わさったのです。担任の先生が「言語学」という学問のあることを教えてくれました。この先生は、戦後すぐ、初めて東大に

だよ」といわれました。もちろん、「病気」というのは冗談ですが、夢物語から抜け出て学問にすることはなかなかのことだということでした。そんな「夢」をみながら、言語学を勉強し、そんな「夢」とは遠く離れた分野の言語学を研究して現在に至っているわけ

たかだ まこと 文芸・言語学系教授、1942年生まれ、東京教育大学文学部卒業、専門は言語学、研究分野は対照言語学、社会言語学。

「病気」にかかった青年時代 日本語の起源に夢抱き



高田 誠

入った3人の女子学生の1人という人で、フランス語が専門の先生でした。

たかだ まこと 文芸・言語学系教授、1942年生まれ、東京教育大学文学部卒業、専門は言語学、研究分野は対照言語学、社会言語学。

「スクボラ交流会」開催

市民団体と意見交換

スクールボランティアに



ノートテイクに真剣に取り組む受講者たち(人間学系棟A101で)

スクールボランティアに

スクールボランティアと

おことわり、受賞者一覧は10面に掲載します。

ズムアップ

石膏で型どりをする学生(芸術専門学群棟1階作業室)



洋画や日本画コースでは、作品が100号(約1・6メートル四方)を超えるものもある。彫塑コースでは、石膏の型どりや、人体の全身像の彫刻など広いアトリエが必要だ。

芸術作業室 夜12時以降の使用禁止

「芸術専門学群棟で夜12時以降も制作させて欲しい。6月11日に開かれた芸術のクラス代表者会議で、こんな要望が出され、出席した約20人の大半から賛同の声が上がった。実は、この5月から、これまで黙認されてきた夜12時以降の作業室や実習室の使用が完全に禁止されたのだ。会議では、「作品制作の場合自宅では確保できない、グループワークの作業がしにくい」などの声が挙がった。座長の深野一哉さん(芸術2年)は、「この状態が続くと制作に支障をきたす。学生は危機感を持っている」と話す。生産デザインコースの新坂育士さん(芸術3年)は、「課題提出の前は、数人が大学に集まって、朝まで作業してきた。夜使えなくなると正直厳しい」という。課題の製図や模型づくりには、大きな作業機が必要な上、自宅で作った模型を大学に運び込むのも難しい。

夜間の危機管理に不安 早朝使用などを視野に

6月、新坂さんは12時以降の使用を求めて各コースに署名を募り、約100人が賛同した。芸術では規則上、教室使用は原則午後6時までとなっている。芸術棟、体芸中央棟の実習室と大石石膏室、工房にカギり、事務区に届けを出せば、夜9時まで使用が許可されてきた。さらに延長を希望してきた。大学院生2人が煙を吸い病院に運ばれた。これを受けて同年9月、芸術棟などの出入り口約60カ所に、掲示が張り出された。9時以降も使用する場合は、警備員まで呼び出し、名札ケースを受け取る。9時以降出入り口を2カ所に限定することを目指す。不審者の侵入を防ぐためオートロックを、約10カ所の出入り口に設置した。そして今年5月、12時以降の完全閉鎖が決定されたのだ。ある警備員は、「学生から『なぜ急に』と聞かれるが、本来12時以降は職務時間外」と語る。クラス代表者会議の要望に対して、石井学群長は「制作に熱中している学生には、そのまま続けさせたいが、いたるところにならざるを得ない。学生の間で、当たり前になってきたのも問題」と話す。芸術学系のある教員は、「学生の気持ちもわかるが、夜間の作業は肉体的にもつらい。思わぬトラブルが起きた時に対応できない」と閉鎖に賛成する。学生の中には12時以降の開放に否定的な声もある。ある学生は「夜教室で寝ている人もいた。不審火は、学生の危機管理意識のなさを示すものではないか」と話す。

不審火の現場に居合わせ、消火作業も行った院生は「予想外の出来事だった。あれ以降、見かけない人がいれば、警備員に見回りを頼み、互いに声をかけようになった」と言う。100人分の署名を集めた新坂さんは、やみくもに24時間開放を訴えていくつもりはないと話す。「署名は学生の考えを伝える一つの手段。今後は早朝に目を向けるなど、解決策を探していきたい」と語る。望月和美「比較文化学類」

受験生との交流

「メールアドレス教えてもらってもいいですか? 質問したいことが出てくるかもしれないので。」そう言ってきたのは、私と同じ宮城県出身の高校生。7月29日に行われた大学説明会が終わり、宿舎案内をしている時だ。実は私も高校生の時、筑波大学へ見学に来て1人の先輩にメールアドレスを聞き、色々なことに相談のついでにもらったのだ。その当時どんな質問をしていて、どんなメールをしていたかはもう残念ながら覚えてはいない。

県人会結成

最近 各都道府県の県民性について書かれた本を読んだ。それによると我が故郷、熊本県は郷土愛が強いらしい。確かに。私自身地元が大好きだ。それなのに、入学当初は出身地を言った時に「なんでも筑波まで来たの?」と聞かれるほど、遠くまで来てしまった。入学して3カ月、新しい生活にはすっかり慣れた。それでもやはり故郷が恋しくなることがある。そこで私は、同じ学類の同郷の友達と2人で「熊本県人会」を結成することにした。ここで役立つのが筑波大学新聞の4月号。出身県別の入学名簿が載っているのだから。私たちは新聞を片手に宿舎のメールボックスを手エックするという。

メールでささやかな応援

い。でも大学選びに迷っていた時や大学生活のこのころのちょっとした話など、親切に返事をくれ、受験勉強時代に支えになった。入学し、入居日に再会した。その時は、今日から1人で暮らすのに初めから知り合いがいるのが嬉しく、また心強く、アドレスを聞いていて本当によかったと思った。これからどんなことを聞かれるか、はたまた全当に当てられないかはわからないが、大学生活の中で楽しみにすることがまた1つ増えた。(最近男にもてる男)

夏の宿舎

大学生になって初めての夏休み。つくばの夏は暑さ、湿度とも過酷だと聞いていたので、実家へ帰るために宿舎の部屋を空ける時は、出来る限りの準備をした。それまでもこの部屋はクモが巣くったり小ムカデが出たりと、油断ならなかったから。まず、湿度と湿度を部屋のあちこちに置き、衣類の中にも湿度とりを入れておいた。布団にはなるべく隙間をつくり、ベッドの下の物置にも気を遣った。そして鍵を友達に渡し、換気を頼んで宿舎を出た。しかし宿舎が1階で北向きであることを考えると、不十分な気がする。およそ1カ月、ずっと地元で

集まれ! 熊本県人!!

怪しげな行動の末、熊本出身の1年生ほぼ全員に誘いの手紙を渡すことができた。さすが宿舎暮らしが多い筑波大学だ。そして集まった現在の会員数は13人。第1回県人会出席者数6人……。これからもっと増えると思う。学園祭では広島県人会のお好み焼きに對抗して、いきなり団子(知らない?)を出店し、徳島県人会の阿波踊りに対抗して「おてもやん」を踊るのが夢である。(社学の不穏分子)

大学説明会

7月29、30日に筑波大学の大学説明会が開催された。私の学類では午前中に先生方による説明会が、午後には在学生による説明会が行われた。私は在学生代表として受験生や高校生の前で専攻説明をした。約250人だったので、それなりに緊張した。私の前に説明をした友達はみんな、初めに自分と同じ出身地の高校生を尋ねるなどして、うまく笑いをとっていた。私は自分の番が近づくと「自分も何か面白いことを言わなければ」と思い、今から考えてみれば、言おうが言わまいが重要ではないことに気がとられ、焦っていた。いよいよ私の番が来た。結局のさいた小ネタなど考えつかなかった。私は専攻説明のメモを手に教壇に上

とっさの一言 凍り付いた会場

がり、開口一番に、「じゃ、寝ている人、顔あげて」と言った。これはまさかと思ったら、とたんに会場は緊張したムードに包まれた。まじいーと思いつつも、軌道修正不可能となったこの雰囲気の中、私の説明は終わった。「何か質問のある人」と呼びかけても、当然手を挙げる人はいなかった。いたたまれなくなった私は、目の前に座っていたえなりかずきの青年の顔ばかり見ている。人前に出るのもつやめよつと思つた1日だった。(某学類生)

湿気に備えてフル装備

過酷していたから、その間も多少心配だった。そしてようやく帰宅。ドアを開けた瞬間カビ臭さを感じてぎょっとしたが、それほど異常はなかった。それでも湿度とりはどれも満杯に近かつたのだが、ずいぶん夏のつくばに神経を使っていたけれど、思っていたよりも普通なのだろうか。それとも今年がたまたま涼しい夏であつたらだろうか。つくばに帰ってきた今、これからの残暑がコワイ気がする。部屋に置いてある紙がひとりでに湿るといことがないようにと思う。(わにこ)

受賞者一覧

- 西尾道徳教授(農林工学系) 田村憲司・助教
- (応用生物科学系) 東照雄教授(応用生物科学系)
- 第50回産経児童出版文化賞 北川博之教授(電子情報工学系) 石川佳治講師
- (同) 電子情報通信学会第59回論文賞 北川博之教授(電子情報工学系) 渡辺陽介(システム情報工学研究科) コンピュータサイエンス専攻3年
- 電子情報通信学会第14回データ工学ワークショップ(DEWS 2003) 優秀論文賞 朴泰祐・助教(電子情報工学系) 梅村雅之教授(物理科学系) 宇川彰教授(同) 平成14年度情報処理学会論文賞 松村明・助教(臨床医学系) 第4回
- 回日本脊髄外科学会優秀論文賞 清水芳男講師(臨床医学系) 平成15年度研究助成 土方裕子(人文社会科学部) 第16回英検研究助成 大村謙二教授(社会工学系) 大澤義明教授(同) 2002年度財団法人鹿島学術振興財団研究助成 氷野陽四郎教授(農林工学系) 平成14年度(社) 日本不動産学会賞(著作賞) 莫文紅助手(生物科学系) アサヒビル学術振興財団・研究賞 清水徹・助教(基礎医学系) 日本細菌学会「小林六像記念賞」 本田靖・助教(体育科学系) 高木英樹講師(体育科学系) 第17回筑波大学河本体育科学研究奨励賞

学生団体C4があぐる異業種交流会第3弾!

学生と社会人の交流会『ツクコム』

～つくばで暮らす～

2005年のつくばエクスプレス開通により、つくばは東京への通勤可能地域となります。つくばの街の可能性を『ツクコム』(Tsukuba Community & Communication)を通して話し合いませんか。

日時 10月4日(土)午後1時～4時30分
会場 つくば国際会議場406会議室(当日は車による送迎を予定)
参加費 学生 700円
内容 筑波の街についてプレゼンテーション
カスミ名誉会長神林章夫氏による講演
テーブルトーク、フリートーク
問い合わせ 担当/吉田 yoshida@tsukunavi.com

オガニック・デザイン

21世紀を拓くコンセプト

三井英樹 教授

(芸術学系)

平凡社 2400円(税別)

「芸パチ」新装オープン

体芸リニューアルプロジェクト

JCDデザイン賞新人賞に

体芸中央棟2階の芸術学生控室、通称「芸パチ」が7月2日にリニューアルオープンした。芸パチを含む体芸リニューアルプロジェクトは、公共施設や商業建築の優れたデザインに与えられるJCD(社団法人・日本環境設計家協会)デザイン賞の新人賞を6月に受賞。学生の手によるリニューアルというこれまでで、高い評価された。4月から約3カ月かけて工事されていた芸パチは、床と天井以外のほとんどを学生が改装した。2回のワークショップを経て決まったコンセプトは「芸術コースの表現がコア」。白を基調とした室内で、ひときわ目をひいたのが、芸術全12コースの学生が制作した「アート壁」だ。A4サイズのパネルの作品630枚が、壁一面に詰め込まれている。取り外しも可能で、今後は作品を更新していくことができる。パネル制作は、白をテーマに教員や体芸棟ワークグループ(WG)が中心になり、各コースの学生に呼び掛けた。「それぞれ、作品の細かい部分まで楽しんで面白く、初めは統一感がなくなるのではと心配していたが、意外と調和している」など制作した学生



ひときわ目をひくアート壁。A4サイズのパネルがはめ込まれている(体芸中央棟2階の芸術学生控室)

図情のサークルどうすっぺ

初の意見交換、活発に

図書館情報大学に所属するサークルの今後を話し合う「図情のサークルどうすっぺ」が7月1日、春日地区で開かれた。写真、文化・芸術系サークル連合など筑波大学の学生組織の代表や図情大サークルの部長など約60人が参加した。筑波大の学生組織と図情大サークルが意見交換するのは、今回が初めて。現在図情大に所属しているサークルは、図情大生が全て卒業するまでに、筑波大のサークルとして新たに

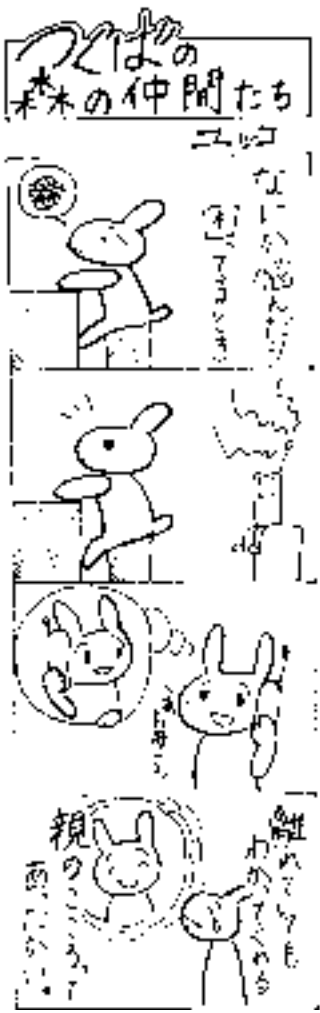


図情大のサークル代表者らが話し合う様子

「取りすぎました。返金します」

本学の「公共料金、学生会費が返金されている。学生宿舎の電気料と交通安全」

入居者4293人に取り過ぎた分の返金(1人平均2千円)を始める。財団によると、昨年度、入居者から電気使用料を約800万円多く徴収していた。昨年4月から本学の電気使用料は東京電力との契約



で、1キロワット当たり約12円から10円に値下げされたが、財団は値下げを考慮せずに電気代を算出した。厚生課が14年度決算報告の説明を財団に求め、6月10日、ミスが発覚した。昨年度から継続して入居している学生は、各共用棟の管理事務所へ、退去した学生は平砂の管理事務所へ返金される。返金の際には、印鑑・身分証が必要。卒業生には、封書で連絡し、返金の手続きが行われる。ゲート付駐車場を利用する学生(夜間などの特定駐車証利用者を除く)には、

図情大 児童文学研究会・南

33



午後6時30分、春日地区。慣れ親しんだ童話の一節が聞こえてきた。「昔々あるところに3匹の子豚がいました」毎週火曜日の、図書館情報大学・児童文学研究会・南の会員は春日地区102教室に集ま



行われているのは、児童文学研究会「桃太郎」など有名な童話を記憶だけを頼りに1人1節ずつ話をつないで完成させる。記憶だけで語るの間違ひもある。今日のお題は「3匹の子豚」では、本来狼が次男の住む家を吹き飛ばさなければならぬのだが、鍵が開かずに閉かかっているはずの扉から中に入ってしまっただ。間違った会員は「しまった」と苦笑するが訂正はされない。出版社間の微妙な描写の違いや会員の記憶違い、様々な違いから生まれる変化を

そのまま受け止め、楽しむ。「気楽に児童文学を楽しむ」。第22代会長の竹入ふみさん(図書館情報大2年)はサークルの方針を語る。一番大切なのは、児童文学をのびのびと読むことだ。今年度は統合の影響で新入会員の減少が予想されたが、1年生も3人入会した。図情大生が卒業する3年後までには、筑波大で新サークルとして登録し直す必要がある。筑波大の研究会と合併する予定はない。キャンパス間の移動や活動内容の違いを検討した結果、サークルの将来について竹入さんは「これからこの会は会員全体で話し合っていきたい。今はとにかく楽しくやっていければいいと思っています」と語った。

外灯設置状況を調査 全明るさ不足18カ所

キャンパス内外の外灯の設置状況について、全学学類・専門学群代表者会議(全代会)は6月23日から28日にかけて調査を行った。調査によると、134カ所を外灯設置の必要がある。84本の外灯が樹木の陰になっていないなど、明るさが不足しているところがある。全代会は、この結果を7月29日、学生担当教官室の石塚茂清室長(現代語・現代文化学系教授)に提出した。施設部は、今回の結果をデータベース化した。調査は、全代会の外灯調査特別委員会が、各学類・専門学群のクラス代表と行

た。昼間と夜間、ベネズエラ、宿舎地区などを歩き、外灯設置の必要な地点と改善が望ましい外灯を地図に記入、写真を撮った。富江伸治副学長(学生生活担当)は「今年度中に数本の外灯を設置したい」と話す。続いて、榎山由美さん(国際4年)が自らのインターン体験談を話した。榎山さんはETICを通じてIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)でインターンを行っている。筑波大が実践しているインターン体験談に登場者は真剣に耳を傾けていた。

Who's Who?

図情大サークルの行く末を見守る



板津青樹さん (情報メディア研究科2年)

図情大のサークルをどう存続させるか、熱い議論が続く会をじっと見守る板津青樹さん(情報メディア研究科2年)の姿があった。4年前、図情大に初めて学生団体連絡会を作り、育ててきた人物だ。連絡会は図情大が3学期制から2学期制へ移行したことが発端となってきた。授業時間が延長されたため、音楽系サー

自ら学園祭資金募る 図情の文化残したい

図書情報大学が昨年10月、本学と統合したことを受けて7月1日、春日地区で「図情のサークルどうすっべ」という奇妙な名前の会が開かれた。大学の提出することになった。図情大のサークルをどう存続させるか、熱い議論が続く会をじっと見守る板津青樹さん(情報メディア研究科2年)の姿があった。4年前、図情大に初めて学生団体連絡会を作り、育ててきた人物だ。連絡会は図情大が3学期制から2学期制へ移行したことが発端となってきた。授業時間が延長されたため、音楽系サー

クルの活動時間が短くなるとして、大胆に迅速、と、前夜祭で急ぎよ、留学積極的な行動を支えた。図情大のサークルについて、板津さん自身は「劇団クリス」というサークルの中で個別劇団の活動をしている。演劇は中学時代から続け、年に2、3本の脚本を書く。ジャンルは「不条理系」。劇中音も作るほどのこだわり。出入りする学生の目に自然に触れる、ちょっとヤカンパッチと素敵な展示会だ。「狭いサークルの資金が足りない」と、真つ先に、板津さんは願っている。大学中をまわ(本紙・廣野郁恵)比較

委員の描いたモザイクアートや、各企画が目録を書いた紙を貼り、達成すると刻

た。大学と話し合う2日前のことだ。「2日間の教室を使う可能性のある20以上の団体をかけ回り、署名とはんこを集めました。図情大生はおとなしい、というイメージを変えたい、もっと声をあげよう、観客にはシルと素敵な展示会だ。「狭いサークルの資金が足りない」と、真つ先に、板津さんは願っている。大学中をまわ(本紙・廣野郁恵)比較

第29回雙峰祭

10月11日 13日に開催

400以上の団体が参加

第29回雙峰祭が10月11日から13日までの3日間、「plus ultra」をテーマに開催される。テーマは「プルスウルトラ」

模擬店や物販、学術発表などの一般企画には、昨年より約100団体多い400を超える団体が参加する予定で、例年以上の盛り上がりが見込まれる。

実行委員会による本部企画では13日に、人類発展の足跡をたどって南米を旅する探検家・関野吉晴氏の講演会が行われる。昨年好評を博した研究所見学ツアー(11日)をはじめ、漫才コ

ンビ「ダイノジ」を招いたステージ(13日)、学内外から参加者が集まるパレード(12日)、飲食店が味を競う企画コンテスト(12日)、松見池前ステージの子供企画(13日)、フリーマーケット(全日)、後夜祭(13日)でのダンスコなど盛りだくさんだ。開学30周年を記念した企画も行われる。

他大学の学園祭ガイド

秋の学園祭シーズンが、筑波技術短期大学は、視覚部、聴覚部に分かれて学園祭を開催する。視覚部(つくば市春日)の「春日祭」は、10月4、5日に行われる。テーマは「がしていくパッチワーク壁画が飾られる。」

秋季スポーツデー

受付は22日から 卓球加え7種目

第27回秋季スポーツデーが10月25、26日の両日行われる。種目はサッカー、バレー、キックベース、ソフトテニス、バドミントン、駅伝の6種目に、昨年末で隔年開催だった卓球が加わる。受付用紙の配布と参加受付は、今月22日から来月3日まで、次の場所で行われる。

昼休み
一学C棟前、二学・三学の中庭、体芸中央棟付近の申込所
昼休み以外
青い受付ボックスで受け付ける。設置場所は、一学棟掲示板前、二学棟2階図書部前、三学棟2階

次号は
10月20日(月)
発行予定です

Tsukuba INFORMATION of CULTURE

つくば美術館 029-856-3711

第3回「7つの写真グループの展覧会」
9月17日(水)~9月23日(火)
内容=写真 入場無料

「家庭の日」・人権・下水道・まちづくり
明るい選挙 絵画展
9月25日(水)~10月1日(水)
内容=絵画ポスター 入場無料

田園と都市 常総の美術家たち展
10月4日(土)~11月3日(月)
内容=絵画
一般180円 大学・高校生110円
小・中学生80円

ノバホール 029-852-5881

つくばフィル合唱団創立20周年記念
第31回コンサート
9月23日(金) 14:00開演

全席自由 前売り 一般3500円
大学生・院生2000円 小、中、高校生1000円
身体障害者券1000円 (当日は各500円増し)

オルフ: カルミナ・ブラーナ
ベートーベン: 運命

パスカル・ロジェピアノリサイタル
10月10日(金) 19:00開演
S席3500円 A席3000円 B席2500円
フォーレ 舟歌第1、2番
ドビュッシー 前奏曲第2集から

つくばカピオ 029-851-2886

人形劇団ロバ座 人形劇
9月20日(土) 18:00開演
全席自由 入場料: 1000円

ヤングファイト 新鋭の激闘KO戦つくば大会
9月27日(土) 17:00開演
リングサイド10000円 2F指定席5000円
2F自由席3000円

劇団竹蜻蛉 「ストッキングを破らせる」
9月28日(日) 14:00開演
全席自由 前売り 800円 当日1000円
学生500円(前売りのみ)

大学会館書籍部ベストセラー

BEST SELLER

1	新ゴーマニズム宣言スペシャル 戦争論(3) 小林よしのり/幻冬舎
2	世界の中心で愛を叫ぶ 片山恭一/小学館
3	バカの壁 養老孟司/新潮社
4	出身県でわかる人の性格 岩中祥史/草思社
5	トリビアの泉(1)(2) フジテレビトリビア普及委員会編/講談社
6	4TEEN 石田衣良/新潮社
7	わしズム Vol.7 小林よしのり編/幻冬社
8	星々の舟 村山由佳/文芸春秋
9	バトル・ロワイヤル2 鎮魂歌 杉江松恋/太田出版
10	デッドエンドの思い出 よしもとばなな/文芸春秋

8月の第1位は、小林よしのりの「新ゴーマニズム宣言スペシャル 戦争論(3)」。

第6位は、直木賞作家・石田衣良が描く青春物語「4TEEN」。長屋と高層マンションが共存する下町、月島この町で僕たちは恋をし、傷つき、死と出会い、そして大人になっていく……。14歳の中学生4人組が出会った8つのみずみずしい物語。

9月の催事は言語学フェア(15日オフ、26日まで)、ナツメ社雑学シリーズフェア(10日オフ、30日まで)。